

外国語科(英語)



言語活動の取扱い：3 学年間を通じて配慮する点は何か。

- ア 3 学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。
- (ア) 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行うとともに、(3) に示す言語材料について理解したり練習したりする活動を行うようにすること。
 - (イ) 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにすること。
 - (ウ) 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにすること。

★ ポイント

- (イ) 全員が同じ英語表現を使うような指導になりがちであるが、実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動の中では、表現しようとすることを個々の生徒が自ら考え、ふさわしい表現を選択できるように配慮することが大切である。
- 下記のように言語の働きについては、小学校と高等学校における分類との対応関係を分かりやすくするために統一を図り、「コミュニケーションを円滑にする」、「気持ちを伝える」、「情報を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」の五つに整理している。そのうち、「コミュニケーションを円滑にする」は今回新たに付け加えられたものである。

〔言語の使用場面の例〕

- a 特有の表現がよく使われる場面
 - ・あいさつ ・自己紹介
 - ・電話での応答 ・買物 ・道案内
 - ・旅行 ・食事 など
- b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面
 - ・家庭での生活 ・学校での学習や活動
 - ・地域の行事 など

〔言語の働きの例〕

- a コミュニケーションを円滑にする
 - ・呼び掛ける ・相づちをうつ ・聞き直す ・繰り返す など
- b 気持ちを伝える
 - ・礼を言う ・苦情を言う ・褒める ・謝る など
- c 情報を伝える
 - ・説明する ・報告する ・発表する ・描写する など
- d 考えや意図を伝える
 - ・申し出る ・約束する ・意見を言う ・賛成する
 - ・反対する ・承諾する ・断る など
- e 相手の行動を促す
 - ・質問する ・依頼する ・招待する など